

平成14年度全国大会

「今、分水嶺に立つ建設産業～建設専門業の新たな時代に向けて～」

日時：平成14年11月7日(木) 13:30～16:30
場所：東京国際フォーラム ホールC (約1,300名参加)

主催：(社)建設産業専門団体連合会

後援：国土交通省、厚生労働省

協賛：(財)建設業振興基金、(財)建設産業教育センター、勤労者退職金共済機構、(財)建設業福祉共済団、
東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北海道建設業信用保証(株)、(社)日本建設業団体連合会、
(社)全国建設業協会、(社)日本建設業経営協会、(社)全国中小建設業協会 (順不同)

開催趣旨

建設業が分水嶺に立つ現在、建設専門業界は建設ものづくりの中核的担い手としての誇りと責任を再認識するとともに、日本の国土づくりのあるべき姿を追求し、自己革新の精神をもって建設生産物の品質確保、環境に優しい施工法の開発、次代を担う有為な技術技能者の育成などを通じて、エンドユーザーである国民の安心と信頼に応えられる、健全で合理的な建設産業の実現と発展を目指して、本大会を開催いたしました。

開催概要

- ・第一部式典では、山崎善弘大会実行委員長の挨拶の後、来賓を代表して、国土交通省扇千景大臣、厚生労働省鴨下一郎副大臣、日建連川崎尚武常務理事(会長代理)からご挨拶を頂戴しました。
つづいて、橋本誠大会実行副委員長が、豊かで潤いのある国土づくりに貢献する建設専門業を目指して、大会宣言をしました。
- ・第二部基調講演では、ノンフィクション作家の山根一真氏から、「建設業『第二黄金時代』への道」をテーマに”「環境」は新たなビジネスチャンス、「環境革命」で社会システム再構築を”との語りの中で、建設専門業界へエールが贈られました。
- ・第三部パネルディスカッションでは、コーディネーターに京都大学大学院古阪秀三助教授、パネリストに政策研究大学院大学橋本久義教授、関東建設青年会議所島村健会長、大澤塗装(株)大澤茂樹代表取締役(建専連副会長・日塗装会長)をお迎えし、大会タイトルの「今、分水嶺に立つ建設産業」をテーマに、会場の参加者からの発言を交えながら討議を展開しました。
- ・大会は、梅田巖大会実行委員の挨拶により閉会いたしました。

大会宣言

- 一、建設ものづくりの担い手として、自己革新に向けて確実な前進を実行します
- 一、高品質施工、適正な施工費を追求し、エンドユーザーの期待に応えます
- 一、生産システムの変革と環境に優しい施工法を研究し、安全施工に努めます
- 一、建設産業の健全な発展を担う、有為な人材の確保育成を図ります

